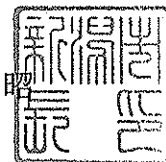




新道計第73号の2
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

新潟市長 篠田



中期的な計画の作成にあつたてのご意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記のことについて、別紙のとおり回答します。

連絡先： 土木部道路計画課企画係

☎226-3041

中期的な計画《道路政策》策定にあたっての意見

新潟市は、平成19年4月1日に本州日本海側初の政令指定都市としてスタートを切りました。

本市は、合併した地域の歴史を踏まえ、81万市民が支え合い、学びあって「共に育つ」ことを大きな理念とし、まちづくりの方向として「世界と共に育つ日本海政令市」「大地と共に育つ田園型政令市」「地域と共に育つ分権型政令市」の3つを目指しています。

その実現のため、長年構築してきた高次都市機能と豊かな自然環境や広大な農地との調和・共存が不可欠であり、交流拠点の機能強化や市民の安心・安全な暮らしを確保する必要があると考えています。

その中で道路は、最も基礎的な社会資本であり市民の日常生活や地域社会の形成には欠くことのできない基盤施設であることから、中期的な計画の作成にあたっては、特に下記項目について配慮くださるようお願いします。

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

【政令指定都市の拠点性の強化】に向けた政策

① 都心の拠点性の向上

都心部の賑わいを再生し、拠点性を向上させるため、鉄道で分断されている南北市街地の一体化を図り、基幹公共交通軸を形成する連立・関連街路・再開発等の「新潟駅周辺整備事業」は重要である。

② (仮)都心再生環状道路の形成

中心市街地に流入する自動車交通の円滑な処理を図り、オムニバスタウン計画を推進する基幹公共交通軸を構築するため、(仮)都心再生環状道路の形成は重要であり、その一翼を担う「万代島ルート線」整備の推進は重要である。

③ 高速交通ネットワークの強化

安定した緊急輸送路の構築や、広域の連携（国土形成計画では東北の中の新潟、関東との連携）での「日東道」や「磐越道の4車線化」の整備が必要である。

【地域間の円滑な移動の確保】に向けた政策

④ 環状道路の整備

環日本海地域の拠点都市・新潟の新たな交流・連携の軸となり、多核連

携型の都市構造に欠かせない道路であり、政令市内の移動・各地域拠点間の連携強化（一体感の醸成）や不要な都心への交通を排除するため、「(仮)中央環状道路」の整備は重要である。

⑤ 既存高速ネットワークの効率的活用

貴重な社会資本である高速道路の活用が投資効果の観点からも有効であり、国道 403 号の渋滞対策として、国道 403 号と磐越道との交差部に「(仮)新津西スマート IC」を設置するなど、ネットワークの更なる活用方策を進める必要がある。

【自動車交通と公共交通の適切な役割分担】に向けた政策

⑥ 総合交通戦略

人口減少・高齢化社会の新潟のまちの将来像や、第 3 回新潟都市圏パーソントリップ調査で提言された交通計画の実現を図るため、ハード・ソフトの両面からなる「総合交通戦略」を示す必要がある。

⑦ 公共交通への転換

過度なマイカー依存から公共交通の利用を考えていくことが必要であり、バス利用を促進するオムニバスタウン計画の策定を進めるとともに、バス交通や JR の活用による公共交通への転換に向けて、利用しやすい駅などの交通結節点の整備やパークアンドバスライド駐車場などの整備が重要である。

また、長期的には万代島や空港を結ぶルートで LRT も含めたアクセスの検討が必要である。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

再⑧ 総合交通戦略

人口減少・高齢化社会の新潟のまちの将来像や、第 3 回新潟都市圏パーソントリップ調査で提言された交通計画の実現を図るため、ハード・ソフトの両面からなる「総合交通戦略」を示す必要がある。

再⑨ 既存高速ネットワークの効率的活用

貴重な社会資本である高速道路の活用が投資効果の観点からも有効であり、国道 403 号の渋滞対策として、国道 403 号と磐越道との交差部に「(仮)新津西スマート IC」を設置するなど、ネットワークの更なる活用方策を進める必要がある。

⑩ 既存ストックの長寿命化

高齢化する道路構造物の寿命を延ばし、ライフサイクルコストの削減や平準化を図るため、アセットマネジメントによる施設の延命化とトータルコストの縮減を推進する必要がある。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

⑪ 道路特定財源

受益者負担という特定財源制度の趣旨を考えると、今の一般財源化の議論は中身が荒っぽく、納税者の理解は得られないのではないか。使途としては、マイカー依存から抜け出すための公共交通の充実、強化などにも使うべき。

⑫ 都市計画道路の見直し

都市計画道路の見直しが必要なものは、現実的な計画に変更し、早期に効果を発揮させることが大切である。

⑬ 貴重な公共空間としての活用

貴重な公共空間として景観・安心安全・面整備など、交通機能だけではない多様な効果に着目した整備が大切である。

⑭ 市民・地域との協働

市民ニーズを大切にしながら道路整備に向けて、都市の将来像を示し、道路整備の必要性やスケジュールをはっきり示していくことが市民の協力を得るのに必要である。